

高岡ガスグループのDX推進について（基幹システムのクラウド化）

高岡ガス株式会社

弊社グループは基幹システムを更新しました。従来システムは2010年(平成22年)に導入、(株)両毛システムズ(群馬県桐生市)の(GIOSシステム)を利用しておりました。しかし、経年的なシステム脆弱性やセキュリティ対策のため、システム環境を最新の状態にし、セキュリティの強化、継続利用やBCP対策を考慮し、同社のクラウド型の基幹システム(GIOS R3システム)を導入しました。

●以下、特徴

① 現場でのお客さま情報の確認(モバイル(タブレット・スマホ)端末の利用)

従来のシステムは、顧客データは社内で見るとのみでした。新システムでは営業担当者がモバイル端末を活用し、社外でも確認できるようになりました。主な業務(開栓作業や定期保安調査等)は、現在、紙をベースでお客さまに押印等していただいておりますが、今後の展開として、モバイル端末で作業完了時にサイン(押印不要)、お客さま情報の入力・更新が出来るようになります(業務プロセスの効率化)。

② 就業管理システムの導入

タイムカード(紙ベース)による就業管理からシステム管理(ICカードを利用)へ移行、手作業での勤怠管理が不要となりました(自動化)。休暇・時間外申請なども電子的な申請へ移行し、ペーパーレスに繋がりました。

③ スマートフォン検針の導入

従来、毎月のガスメーター検針は検針員が専用機器を用いて作業します。ガスご使用量の情報については、各検針員が専用機器を事務所に持ち帰り、情報をシステムに反映

させるまでにタイムラグがありました。今回、スマートフォン検針を導入することにより、通信(専用回線)で検針情報をリアルタイムでシステムに反映させることができ、業務効率化およびお客さま情報の更新の迅速化が見込まれます。2023年8月より稼働予定。

④ 適格請求書等保存対応

2023年10月から導入予定の適格請求書等保存方式に対応。

・投資額 約72,000千円

以上

【お問い合わせ】

高岡ガス株式会社 総務部 滝口、室

TEL 0766-22-0709

メール takiguchi@takagas.co.jp